

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 こもたの推進委員会

1	事業名	こもたのカーニバル
2	事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	
1) 事業の内容 2024 年 11 月 30 日（土）12 月 1 日（日） 全 2 日 宝塚市文化芸術センター 参加予定人数：11 月 10 日（土）100 名 12 月 1 日（日）1300 名 出店者：145 名 スタッフ：10 名 協賛：宝塚グリーンライオンズクラブ、生活協同組合コープこうべ 11 月 30 日（土） ・ミニステージ （ハンドベル、腹話術、マジック、紙芝居、絵本読み聞かせ） 12 月 1 日（日） ・「宝塚市のこども写真展～宝塚市 70 年のあゆみ～」 ・飲食ブース（キッチンカー2 台、店舗出店 3 つ）系 5 ブース ・おやこ向けワークショップ（工作、体験）計 24 ブース		

3 市制 70 周年をお祝いした内容

- ・ミニステージ

ハンドベル演奏に「鉄腕アトム」「すみれの花咲く頃」など、宝塚市にちなんだ曲を選び、おとなも子どもも楽しみながら、市政 70 周年を祝えるプログラム構成とした。

- ・パネル展示「宝塚市のこども写真展～宝塚市 70 年のあゆみ～」

宝塚温泉、宝塚歌劇場周辺の歴史をパネルで展示。ホテル若水の小早川社長にインタビューさせていただき、旧温泉街についてのコラムを作成。また、今年 70 才を迎えられた宝塚生まれ宝塚育ち、そしてお子さんお孫さんも宝塚で暮らされているご家族を取材し、インタビュー記事を作成。

宝塚市立図書館から、70 年間の変遷が分かる資料や写真を提供いただき、写真を展示。イベント当日は、子どもからシニアの方までが展示を見に来てくださり、「昔、宝塚撮影所に勤めていてねえ、当時を思い出してとても懐かしい気持ちになった。」「子どもの頃、ファミリーランドが阪急電車から見えるとわくわくした気持ちになった。」など、宝塚の変遷を知るかたからたくさんのコメントをいただいた。

4 事業の効果・成果

効果①

地域とのつながりが薄く、子育て孤独を感じやすい未就園児の保護者が地域の子育て応援情報を得られる機会の提供と同年代のこども親同士での仲間づくりの促進を促すことができた。

アンケート集計の結果、ちらしやインスタで情報を得たという意見が 80%あり、市内でふらっとおやこで参加できるイベントがあるのはうれしいというコメントが多く寄せられた。

効果②

運営ボランティアとして、ズカボのボランティア登録者やシニアカレッジ受講者に声をかけ、高齢者が積極的に関われる機会をつくることができた。そのことで、地域とつながるきっかけづくりと、自分にできることが誰かの役に立って喜ばれる社会貢献活動を通して、自分の役割を地域でみつけ、高齢者が生きがいを感じてもらうきっかけづくりに寄与することができた。

効果③

市内活動する、子育て応援グループ同士がともに、地域の子育て、まちづくりに対して意見を出し合い、解決につながるイベントを企画運営することで、連携を強くし、宝塚市がより子育てしやすいまちにしていくなための市民力を高めることができた。

協力団体数 25（子育て、福祉に関する活動を実施している）

5 実施した安全対策

[計画・準備段階]

- 1 イベント会場や周辺の状況を事前に確認する。
- 2 会場警備の責任者を選任のうえ、できる限り多くの担当者を配置する。
- 3 警察・消防・市への緊急連絡体制をスタッフ全員で共有する。
- 4 事前に警備などの危機対策について、警察・消防等に相談する。

[イベント当日]

- 1 イベントの開催中、会場内外の巡回警備を行う。
- 2 看板やアナウンス等を活用し、注意喚起を行う。